

平成 30 年度 学校関係者評価委員会 議事録

日 時：平成 30 年 5 月 10 日（木）16：00～17：45

場 所：基礎医学実習室

学校関係者評価委員

出席者：矢田真樹（委員長）、斉藤恭二郎、田中 博、澁谷哲平

欠席者：中村 聡、鈴木秀旺

教 職 員：杉山誠一、白井明宏、太田一郎、金川 小百合、城 茂高

1. 議事次第：1) 開 会

2) 校長挨拶

3) 委員紹介および委員長挨拶

4) 議事（議長：矢田委員）

（1）平成 29 年度 自己点検・評価報告（配布資料）

（2）質疑応答

（3）学校関係者評価

6) 閉 会

2. 議事経過

1) 開 会

城事務長より開会の宣言並びに配布資料の確認があった。

2) 校長挨拶

委員会開催に先立ち、杉山校長より委員各位への挨拶があった。

3) 委員紹介及び委員長挨拶

城事務長より、委員の紹介が行われた。その中で、今年度より岡村郁生委員長が諸事情のため退任し、新たに本校校友会副会長でもある、澁谷哲平氏が委員に就任した旨の報告と、澁谷委員からの挨拶があった。

また、議事進行にあたり本委員会規程「委員長には卒業生を充てる」に則り、委員長に矢田真樹氏を推薦する旨の提案を行ったところ全員意義なく了承したため、引き続きの議事進行を委ねた。

4) 委員長挨拶

矢田委員長より挨拶がなされ次第に従い議事に入った。

5) 議事（議長：委員長）

(1) 平成 29 年度 自己点検・評価報告

配布資料「平成 29 年度学校評価報告書」ならびにパワーポイント資料に基づき杉山校長より、まず評価項目における「1. 教育理念・目的・人材育成像」「2. 学校運営」について、臼井教務課長より「3. 教育活動」と「4. 学修成果」、城事務長より「5. 学生支援」「6. 教育環境」「7. 学生募集および受け入れ」「8. 財務」「9. 法令等の遵守」、太田センター長より「10. 社会貢献・地域貢献」について報告がなされた。

(2) 質疑応答

評価項目の説明後、矢田委員長により、各委員へ質疑が促された。以下、委員会内での意見と回答を列記する。

●田中委員：昨年 60 周年を迎えたということで、その長い歴史は素晴らしいことである。現在卒業生は何名程いるのか。また地元熱海に残り、鍼灸マッサージの仕事をしている方はどれくらいいるのか？

○杉山校長：60 年を迎えられたのも本学園スタッフの頑張りや、地域の皆さんのバックアップがあればこそだと思っている。そして何より約 3,000 名を数える卒業生の皆さんの支えが大きい。地元に残ってこの業界の仕事をしている方は、比較的古い時代の卒業生の方に多い。本校設立のきっかけは、熱海が現在よりも栄えている時代、マッサージ師の需要も多く高レベルの施術を提供するため、しっかりと資格を取得させよう、ということであった。その延長戦上で熱海に残っている方が多いと思う。

●田中委員：近年はマッサージの需要も多様化し、変化してきているのではないかと。そのニーズに応えることが、学生募集や学校経営を良好にする要因になるのでは？

○杉山校長：確かに時代のニーズは常に変化している。最近では星野リゾートのような企業が、あん摩マッサージ指圧師の有資格者を雇用し、お客様へ高レベルのサービス提供を行うようになっている。

○城事務長：今年 3 月に卒業した学生も 4 名が、星野リゾートへ就職している。

●田中委員：静岡県内において、競合他校はどのくらいあるのか。学園のブランドをもっとアピールすることで学生募集にも良い影響があるのではないかと。

○杉山校長：近隣においては 1 校あるが、はりきゅう課程のみの学校である。はりきゅう課程の学校は平成 12 年からの規制緩和により、約 4 倍増加している。但し、あん摩マッサージ指圧課程は法律上の制限もあり増加はしていなく、全国でも 21 校のみである。ただ近年は静岡の隣接県である、神奈川・東京へ学生が流出してしまう傾向もあ

り、本校を選んでもらうためにもブランド力を高めていきたいと思っている。

●齋藤委員：今年は国家試験の合格率が、はり師が 57.7%、きゅう師が 62.5%と全国的にもかなり低い結果だった。東海医療学園は、あん摩マッサージ指圧師 100%、はり師、きゅう師がそれぞれ 70.7%と全国平均を上回ったので良かったのではないか。

○杉山校長：70.7%というのは新卒者のみの結果で、既卒者での受験者を含めるともう少し低い数字になってしまう。近年は国家試験の出題の難易度も上がっており、他校の教員とも今後の傾向について現在のような状況でいいのか議論を行っている状況である。

●齋藤委員：既卒者へのバックアップはしているのか？

○臼井教務課長：授業への聴講、夏、冬休み等の補講、模擬試験への参加など、在学生と同様のフォローが受けられるような対応をしている。

●澁谷委員：教育活動の項目で説明のあった、修正イーベル法とアクティブラーニングとはどのような教育指導方法でどのような効果が出ているのか。

○臼井教務課長：修正イーベル法は、正答率や難易度を教員で検討し模擬試験等の試験問題を選定、「必須で正答すべき問題」「ほぼ必要な問題」「正答率が高い、あるいは低い等の理由でさほど重要視しない問題」等の3段階に分け作成する方法である。その結果により、学生のその科目への理解度や学習量などが判断でき、有効な国家試験対策として利用している。

また、アクティブラーニングは従来の教員からの一方的な授業方式とは異なり、コミュニケーションやディスカッションなどを取り入れ、授業への集中度などを高めていく方法である。本校ではまだ取り入れて間もないが、効果は少しずつ出てきていると思う。

矢田委員長より他に意見、質問が促されたが特になかったため、学校関係者評価に入る旨の発言があった。

(3) 学校関係者評価

矢田議長代理より評価方法について説明がなされ、各委員が評価を実施された。

評価の実施にともない教職員は一時退席した。

30分後、教職員は再び着席し、委員からの総評ならびに再度の質疑が行われた。最後に記入した評価表が矢田委員長から杉山学校長に手渡され、完成した自己評価報告書については近日中に作成し、ホームページ等で公表を行う旨の発言があった。

6) 閉 会

最後に城事務長より閉会の挨拶がなされ 17:45 に閉会した。

以上

委員会資料：平成 30 年度東海医療学園専門学校 学校関係者評価委員会次第
平成 29 年度学校評価実施報告書
学校関係者評価委員会規則
学校関係者評価委員名簿